

# アメリカ（エヴァーグリーン州立大学）留学報告

教育文化学部 学校教育課程 中学校英語専攻 3年 津田 誠弥

○留学先: (国名・地域名) アメリカ (大学名・学部名) エヴァーグリーン州立大学

○留学期間: 平成27年9月中旬～28年6月中旬

○渡航時の学年: 3年次

## ○渡日前の手續について

### ・留学に至った経緯について:

将来は英語の先生になるのが夢で、大学に入学する前から留学に興味を持っていました。そして入学し、留学した先輩のお話や先生方のお話をきいて刺激を受けました。受付期日まで留学するか迷っていましたが、学生時代にしかこういう素晴らしい留学は体験できないと思い、思い切って留学しようと決意しました。

### ・大学での手續について:

留学前までの準備でまず交換留学の前提として TOEFL を受けなくてはなりません。基準はGSOが発表しています。その基準を超え初めて交換留学の手續ができます。そしてなぜ交換留学をしようと思ったのかを英語でレポートを書きアメリカの大学にそれを送ったり、アメリカの大学から送られてきた書類に記入したりしました。私は貸与型の奨学金を受給していて、9月から1年間、奨学金を停止していました。330にある学生支援課に行き奨学金の停止の手續はできます。

### ・査証取得:

ビザはできるだけ早くとることをおすすめします。ビザを取るには大使館のホームページで予約をしなければなりません。ここから近いのは福岡にある大使館ですが、私は予約の人が多くて予約できず、大阪に行き取りました。ビザ申請に実際に行く前にパソコン上で申請書を作成、SEVISの支払い、銀行から英文の残高証明書を貰う等をしなければなりません。(※残高証明は2通取ったほうがいいです。アメリカの大学にも出さないといけないし、大使館にも出さないといけないからです。) ビザ申請は本当にややこしかったので私はユーチューブやアメリカ大使館のサイトを見て確認しました。私がおすすめるビザ申請に役立つユーチューブの動画はアメリカ大使館がアップしている「のりこ留学物語」です。これをぜひ確認してみてください。

## ○留学体験記:

Evergreen はアメリカの北西部のワシントン州の中のオリンピアというところにある大学です。オリンピアはワシントン州の州都で議事堂など政治に関する建物が見られます。ダウンタウンはそんなに大きくはないですが、様々な国の食べ物やお店を楽しむことができます。大学の周辺にはスーパーマーケットやモールなど買い物する場所もあり、大学からすぐ買い物にもいけるので交通に関しては比較的便利だと思います。

在学中は大学の寮に住んでいてシェアルームをしていました。寮に住む前まではシェアルームに少し抵抗はありましたが、ルームメイトたちが優しく接してくれてパーティーを開いてくれたり映画鑑賞をしたり寮生活を楽しく過ごすことができました。私がレポートをどのように英語で書けばいいのか分からない時にルームメイトたちが助けてくれて本当に助かりました。英語で話す機会も寮に

## ～宮大生のための交換留学～

住むことでさらに増えて助かりました。英語の授業では教えてくれないスラングや言い回し等も教えてくれました。

学校内は森の中にあり自然がたくさんです。ワシントン州は9月から約半年間晴れの日が少なく雨ばかりです。その恩恵として自然が楽しめるのです。晴れた日の森林浴は最高です。そしてシカ、ウサギ、タヌキなど様々な動物が見られます。校内には大きな芝生のグラウンドがあり、そこで友達と遊んだり、ブルーシートを敷いて勉強したりしました。

Evergreen は liberal arts を焦点にあてているので宮崎大学や他のアメリカの大学とシステムが違います。例えば、宮崎大学では学部や学科がありますが、Evergreen にはありません。Evergreen では自分の好きな授業をとるといような形です。生徒は各学期16単位以上の授業を取らないといけません。Evergreen には16単位分の授業が多くあるので私は各学期16単位の授業を1つずつ((例)週3日、1日6～7時間)取っていました。授業が少ないと思う人もいると思いますが、レポートや本読み、セミナーの準備等で授業がない日には時間がとられるのであまり暇な時間など正直ありませんでした。6月には卒業式があり、留学生も参加で来ます。そして実際に卒業証書 (bachelor of art) も貰えます。アメリカの大学を卒業したことになるので大変素晴らしい機会だと思います。

秋学期にはアメリカの歴史について、冬学期には言語学の授業、春学期には intercultural competence という文化と心理学に関する授業を取りました。授業は日本でよく見られる先生の講義、そしてセミナーと呼ばれる生徒同士のディスカッションがメインでした。一番苦しんだのはセミナーの時間でした。日本にはこの授業スタイルはほとんどなくアメリカ人の生徒についていくのに必死でした。セミナーは課題の本に基づいて行われるのがほとんどなのでしっかり読みこんでセミナーに臨むことが大事でした。またセミナー中は、生徒の沈黙の時間などほとんどなくディスカッションが止まることはありませんでした。発表の仕方も日本と違うのでどう自分の意見をみんなに伝えたいのか、いつ発表すれば良いのか悩みました。セミナーは一番大変ですが、授業の内容の理解を深められ、そしてなにより英語のスキルアップにもつながるのでとても素晴らしい時間だったと思います。

Evergreen には日本語に興味のある学生がたくさんいます。私は他の日本人の生徒2人とともに日本語の授業のアシスタントをしていました。授業の前に日本語を教えたり普通の会話をしたりアメリカ人との話す機会もありました。そこでも友達ができ今でも時々連絡合っています。授業がない日には私と私のアメリカ人の友達と学内のカフェで英語と日本語の会話の練習会を開いてアメリカ人と日本語と英語で話していました。

Evergreen には様々な考えを持った人がたくさんいます。刺激を受けます。自分の視野が広がります。成長できます。留学に興味があるみなさん、是非日本では体験できない経験をアメリカ留学で欲しいです。

### ○帰国後について

- ・派遣先で単位を取得しましたか？( した ) ・ しなかった )
- ・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？( する予定です )

### ○今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

留学を決めている人は交換留学の基準を超えないといけないのでまずはTOEFLに向けての勉強を早めにするほうが良いと思います。留学をするか迷っている方は留学をした方に実際に話を聞くことからしてみたらどうでしょうか。私は留学を強くおすすめします。社会人になったらこのような機会はめったに手に入らないと思います。学生時代にしかできないことをチャレンジしてみませんか？

～宮大生のための交換留学～

